

**N09c HD189322 の元素組成解析**

寺尾 寿人 (東海大理)、比田井 昌英 (東海大総教セ)、齋藤 雄二 (東海大理)

岡山天体物理観測所での金属欠乏星観測の中で、金属度 $-0.5\text{dex}$  辺りの他の金属欠乏星に比して CN ラインの強い金属欠乏星 HD189322 が見つかった。この星についてはこれまで全く元素解析がなされていない為、高分散分光データに基づく元素組成解析を行った。

観測は 2003 年 8 月に岡山天体物理観測所の 188cm 望遠鏡に設置された高分散エシェル分光器 HIDES によって行われた。波長域は  $4500 \text{ \AA}$  から  $6800 \text{ \AA}$  である。 $7700 \text{ \AA}$  から  $9200 \text{ \AA}$  までの観測データは比田井等により得られたものを用いた。観測データは IRAF によって整約し、等価幅の測定は IRAF 及び竹田氏の SPTOOL を用いた。有効温度は (V-K)、重力加速度は Girardi の Evolutionary tracks、微小乱流速度は FeI、金属度は FeII より求めた。組成を決定した元素は C,O,Na,Mg,S,Ca,Ti,Cr,Fe,Ni ,Zn,Ba,Ce,Eu の 14 元素である。

主 　　な 　　結 　　果 　　は 　　、 $[\text{FeII}/\text{H}]=-0.46, [\text{Cl}/\text{H}]=-0.3, [\text{OI}/\text{H}]=0.1, [\text{NaI}/\text{H}]=-0.2, [\text{MgI}/\text{H}]=-0.2, [\text{Si}/\text{H}]=-0.4, [\text{Ca}/\text{H}]=-0.5, [\text{Zn}/\text{H}]=-0.2, [\text{Ba}/\text{H}]=-0.4, [\text{Eu}/\text{H}]=-0.3$  等である。この星の化学組成の特徴について他の金属欠乏星との比較を元に議論する。